

関係性の 世界史

ジェンダー視点から問う
文化と身体

2019.12.14.SAT

13:00 ~ 17:30

[場所] 生活環境学部A棟1階 生活環境学部会議室

◆ 開会挨拶・趣旨説明 / 三成美保 (奈良女子大学教授)

◆ 挨拶 / Gail Hershatter (カリフォルニア大学教授)

第1部

13:10 ~ 15:10

文化と覇権構造 ジェンダー視点から

● 司会: 村上薫 (アジア経済研究所新領域研究センター・ジェンダー・社会開発研究グループ長代理)

報告 1 河上麻由子 (奈良女子大学准教授)
《古代アジアにおける仏教とジェンダー》

報告 2 中山文 (神戸学院大学教授)
《女子越劇と共産党―「父の越劇」がめざしたもの》

● コメント / 森谷公俊 (帝京大学教授)

● 討論

ミニシンポジウム

15:20 ~ 17:20

第2部

見られる身体・見せる身体 ジェンダー視点から

● 司会: 鈴木則子 (奈良女子大学)

報告 3 永原陽子 (京都大学教授)
《植民地と女性の身体―見る/測る/見せる》

報告 4 香川檀 (武蔵大学教授)
《戦間期ドイツの美術と「コロニアルな身体」》

● コメント / 小川真里子 (三重大学名誉教授)

● 討論 ◆ 総括・閉会挨拶 / 富永智津子 (宮城学院女子大学研究員)

主催: 比較ジェンダー史研究会(科研費基盤研究(A)「ジェンダー視点に立つ「新しい世界史」の構想と「市民教養」としての構築・発信」研究代表者:奈良女子大学・三成美保)
奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター

共催: 科研費基盤研究(A)「イスラーム・ジェンダー学構築のための基礎的総合的研究」(研究代表者:東京外国語大学・長沢栄治)研究会
科研費基盤研究(B)「東アジアにおける家族とセクシャリティの変容に関する比較的研究」(研究代表者:日本大学文理学部・小浜正子)研究会

後援: 大阪大学歴史教育研究会・高大連携歴史教育研究会
中国ジェンダー研究会

ACCESS MAP

奈良女子大学 構内図

A,B,C,D,E,F,G,H,N,S 棟の
表記は総合研究棟です。



奈良女子大学へは近鉄奈良駅から
徒歩5分です。「QRコード」からアク
セス詳細を見ることができます。

問い合わせ先

奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
TEL:0742-20-3611 / E-mail:a-gender.c@cc.nara-wu.ac.jp